

3月の各学年の様子をご紹介します！

1 年生 生活科「もうすぐ2年生」



3月1日に来年度1年生になる幼稚園生を学校に招待しました。それに向けて生活科の学習では、来年度入学してくる1年生が、学校を楽しみにしてくれるように、また小学校の事がよく分かるようにと各クラスで企画を考え、準備をしてきました。

当日は、学校の中を紹介しながら探検したり、幼稚園生と遊んだりして活動しました。幼稚園生に優しく接する姿や「お手本になるようにね。」と友達同士で声を掛け合う姿が見られ、学習を通して、「2年生になるんだ！」という気持ちが芽生えていると感じました。来年度、カッコいい2年生になる姿が楽しみです。

2 年生 国語「スーホの白い馬」



2年生は国語「スーホの白い馬」を学習していました。2年生で学習する最後の物語文でした。これまでに2年生で学習した物語の挿絵などを基に、音読や動作化を通して登場人物の行動を想像しながら読んだことや、自分の体験と結び付けて読み、感想を書いたこと等を振り返りました。また、物語文を読み、感想を伝え合うことで、一人一人の感じ方や考え方の違うことを再確認しました。「スーホの白い馬」は、これまでに読んできた物語の中で、一番長い物語文であり、外国の民話でもあるため、読み進めることに楽しさを感じられるよう、物語を読む前に物語の前書きの部分や挿絵を提示し、モンゴルの広大な草原の様子、人々の暮らしを子供たちに想像させました。また、馬頭琴の写真を見せたり、音色を聞かせたりすることで、よりモンゴルの伝統や文化を感じられるよう工夫をしました。今後も子供たちに文学教材を読み深めることを楽しんで欲しいと思います。

3 年生 国語「これが私のお気に入り」



3年生では「これが私のお気に入り」の学習で、1年間の中で1番頑張った作品について紹介しました。国語で学んだ文章の組み立てを生かし、一人一人が自身の頑張りを学級の友達に伝えました。

また、感想を伝え合う活動ではさらに詳細な部分を周りの友達から質問され、自身の頑張りを言葉にして伝えることができました。

今後も自分自身のことだけでなく、相手にわかりやすく伝えるにはどうしたらよいかについて指導し続けていきます。

4 年生 「わたしたちにできること」



3月に総合的な学習の時間を活用して、目に障がいのある方をお招きして講話と点字体験を行いました。子供たちは、お話を聞く中で、目の見えない人の生活の仕方が自分たちと違うことに気付きました。また、点字体験を通して、点字を用いて自分たちの思いを伝えられることに喜びを感じていました。

その他にも、白杖体験も行いました。アイマスクをして歩く中で、見えないことの怖さや危なさに気付き、白杖を使っている意味やガイドヘルパーとして補助をする人がいるありがたさを感じたようです。

今回の経験を生かして、これから生活する中で誰かが困っているとき、自分から声をかけ、手助けしていこうと考えられるようになってほしいと思います。

5 年生 総合的な学習の時間



総合的な学習の時間では、「レッツスタート！ぼくたちわたしたちのまち豊田～大切な人たちを自分の手で守ろう～」として、防災のために自分たちができることについて、調べてまとめてきました。その成果を4年生に向けて発表し、学習のまとめを行いました。

どのような発表にすれば4年生にとって分かりやすいか、お互いの発表を見合いながら改善してきました。発表当日は、その成果を発揮し、5年生として立派な発表を行いました。

ここで学んだことを自分自身の生活にも生かし、自分の命、身近な人の命を守れる行動をとれるよう、常に準備をしていってほしいと思います。

6 年生 「ありがとうの会」



実行委員が中心となり、これまでお世話になった教職員や保護者の方々に感謝の気持ちを伝える「ありがとうの会」を行いました。6年間の思い出の呼びかけをしたり、将来の夢を画用紙に書いて撮影したスライドを発表したりと、今の自分の思いを表現し、お世話になった方々への感謝の思いを伝えることができました。また、当日は多くの保護者や先生方からお祝いの言葉をいただき、改めて自分たちは大切に育てられ、ここまで支えてもらってきたことを感じたようです。

いよいよ今週となった卒業式では、お世話になった方々に、立派に成長した姿を見せてほしいと思います。

専科より 算数少人数6年生「算数卒業旅行」



6年生の小学校生活最後の学習単元が「算数の仕上げ」です。その後半部分にあたる学習には「算数卒業旅行」というタイトルが付けられています。

内容は、昔の時代や外国の算数、算数的なクイズやパズルを通して、数の世界の楽しさや良さを味わうというものです。今は各クラスや算数教室で友達と話し合いながら難問に對峙している姿が見られます。悩みに悩んでいる児童には、こちらからもヒントを少しずつ出しています。友達と一緒にアイデアを出し合いながら、ああでもない、こうでもないとなんまりながら取り組む姿が楽しそうです。